

〈港区推進5つの目標〉
 ▷生命と健康を守る環境の整備
 ▷住民福祉の向上
 ▷明るく豊かな人間性の形成
 ▷地域経済の安定
 ▷都市景観の充実

広報

みなと 53 12/25

毎月3回(1・11・21日)発行

臨時号
 発行/東京都港区
 編集/企画部広報課
 港区芝公園1-5-25
 〒105 ☎432-4151



区立南山小学校新校舎落成(8月)

老朽化した校舎に替り、鉄筋4階建、近代感覚のモダンな建物が完成。教室の色彩にも配慮が。

新図書館、芝公園保育園(児童館・福祉会館併設)、新養護学園、芝浦処理場上部公園等統統工事に着手。(いずれも仮称)

◀伊豆高原の新養護学園 ▶新図書館完成予想図



◀芝浦・港南支所等の完成予想図 ▶芝浦処理場上部公園



福祉タクシーのご利用を！(6月)

歩行が困難な方でもタクシーで気軽に外出が……福祉タクシー走り出す。



芝保健所新庁舎完成(9月)

旧庁舎にくらべ面積もぐっとワイドに。歯科相談室のユニットや各種の検査機器も最新のものを整備。



防災用大規模井戸完成(9月)

災害に備え、先ず水の確保を！と有栖川宮記念公園内に完成。これで1日12万人分の水が供給可能に。



文化財保護条例を制定(9月)

◀伊皿子具塚遺跡の調査

祖先から引き継がれた大切な文化遺産を保護し、後世に伝えるため制定されました。施行は明年4月。



◀赤坂保育園のよい子達と保育室

赤坂保育園がオープン(10月)

赤坂地区にはじめての区立保育園が誕生。これで区内の保育園は18に。(区立14、私立4)



高齢者事業団スタート(11月)

高齢でも永年の経験と能力を生かして社会に役立ちたいという意欲のある人のためもうけられました。



港区 財政の現状

「港区財政の現状」は、予算の内容や収支の状況などをお知らせするため、毎年2回発行しています。今回は、昭和52年度各会計決算の概要と、昭和53年度予算の上半期(53年4月～9月)における執行状況をお知らせします。

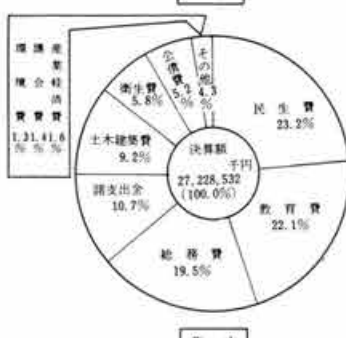
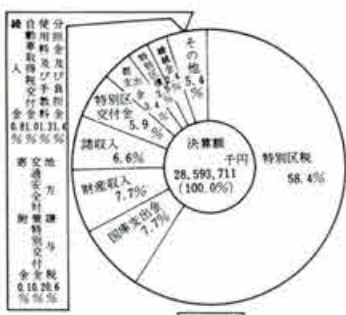
52年度決算のあらまし

昭和52年度の区財政は、長びく不況を反映して歳入の大部分を占める特別区民税の伸びが前年度比23%増と例年になく低く、ために起債借入金や基金のとりくみ、事務事業の見直し等に努め、財源の不足ははたしてきませんでした。このように低経済成長下とはいえ、住民の生活を守り、福祉の向上をはかるため、より計画的、効果的な予算の執行に努め、従来から進めてきた五つの基本施策を柱に特に「強い立場にある区民への配慮」「教育・保健事業等の基盤整備」を重点施策として、その推進をはかりました。

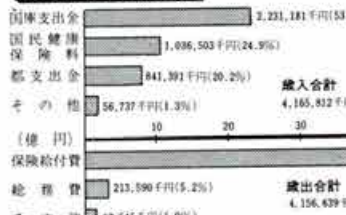
52年度主要事業

- (1) 生命と健康を守る環境の整備
 - 歩道の改修改良・ガードレール等の新設補修、私道の整備、植樹帯の整備………1億4千333万円
 - 災害の防止
 - 防災住民組織の育成、井戸東貯水槽の設置、備蓄物資の購入、消防団の装備充実等………8千877万円

一般会計



国民健康保険事業会計



1人あたりの負担額

- 73,111円の使われ方
 - 福祉の増進に 19,667円
 - 教育の充実に 19,667円
 - 道路の整備に 7,750円
 - 環境衛生の拡充に 5,922円
 - 産業経済の振興に 950円
 - 公債費(借金の返済) 3,363円
 - その他 15,792円

1世帯あたり

- 166,470円
 - 前年同期に比べ 18,779円増

特別区債の状況

特別区債(国や銀行等からの借入金)は、学校建設や公園用地購入などに発行するもので、昭和53年9月30日現在の発行総額は89億9千200万円(公園用地の取得に39億3千700万円、学校用地の取得に30億7

公有財産の状況

区が仕事をを行うために使用するものや、区民の皆さんが利用される施設等が区の財産です。昭和53年9月30日現在の公有財産は次のとおりです。

一時借入金

区が仕事をを行ううえで、一時的に現金が不足した場合、銀行などから資金を借入することを一時借入金といいます。当区では現在その実績はありません。

昭和53年12月11日
東京都港区公報
第二六〇号別冊

一般会計予算の執行状況

区分	予算現額	収入済額	収入率
特別区税	17,429,721	8,584,998	49.3%
国庫支出金	2,693,146	1,253,908	46.6%
都支支出金	1,100,436	247,105	22.5%
その他	8,560,405	3,838,698	44.8%
合計	29,783,709	13,924,709	46.8%

区分	予算現額	支出済額	執行率
総務費	5,375,983	2,375,712	44.4%
民生費	8,205,459	3,579,425	43.6%
土木建築費	3,138,864	895,466	28.5%
教育費	8,060,679	2,817,426	35.0%
その他	4,642,724	1,969,282	42.4%
合計	29,783,709	11,637,311	39.1%

国民健康保険事業会計予算の執行状況

区分	予算現額	収入済額	収入率
国民健康保険料	1,364,992	714,001	52.3%
国庫支出金	2,743,307	1,170,760	42.7%
都支支出金	1,081,077	423,198	39.1%
その他	25,799	21,660	84.0%
合計	5,215,175	2,329,619	44.7%

区分	予算現額	支出済額	執行率
総務費	235,265	99,478	42.3%
保険給付費	4,968,931	1,601,888	32.2%
その他	10,979	3,172	28.9%
合計	5,215,175	1,704,538	32.7%

53年度予算の執行状況

昭和53年度予算の編成にあたっては、可能な限り財源の確保に努めると共に、基本計画、実施計画を指針として「健康で明るい生活を」として「健康で明るい生活を」(楽しく働ける)を重点に効率、面も考慮して編成いたしました。

港区の整備

また区民福祉のため緊急を要する事業について、一般会計および国民健康保険事業会計とも1回、補正予算を編成しました。その主な内容は次のとおりです。

- 休日診療充実………2千794万9千円
- 芝浦汚水処理場上部利用による公園の新設………2千919万6千円
- 震災対策充実………8千51万6千円
- 飯倉児童福祉会館・児童館建設

53年度予算の執行状況

昭和53年度予算の編成にあたっては、可能な限り財源の確保に努めると共に、基本計画、実施計画を指針として「健康で明るい生活を」として「健康で明るい生活を」(楽しく働ける)を重点に効率、面も考慮して編成いたしました。

港区の整備

また区民福祉のため緊急を要する事業について、一般会計および国民健康保険事業会計とも1回、補正予算を編成しました。その主な内容は次のとおりです。

- 休日診療充実………2千794万9千円
- 芝浦汚水処理場上部利用による公園の新設………2千919万6千円
- 震災対策充実………8千51万6千円
- 飯倉児童福祉会館・児童館建設

金の貸付、無料入浴券の支給
1千200万円

低所得者福祉の拡充
5千600万円

幼幼教育の充実
5千600万円

1千200万円

広報みなと縮刷版 No. 3
昭和50年～昭和53年版
(No.490号～No.633号)

昭和58年9月1日発行

編集・発行 港区役所企画部広報課
印刷 株式会社 気生堂印刷所

[Ⅲ・200]